

鐘光産業

鐘光産業（兵庫県尼崎市、藤本恵一社長）は、JFEスチールを中心に鋼材メーカーと取引する特殊鋼問屋。自前のコイルセンターで加工を手がけ、長大な鋼帯を小さく切って自動車部品や刃物向けに納める。在庫の厚さという長所を生かしつつ、顧客の信頼を得る工夫を惜しまないことで同業他社との差別化を図ってきた。

粗鋼生産全体における特殊鋼の割合は数%とされる。用途が限定



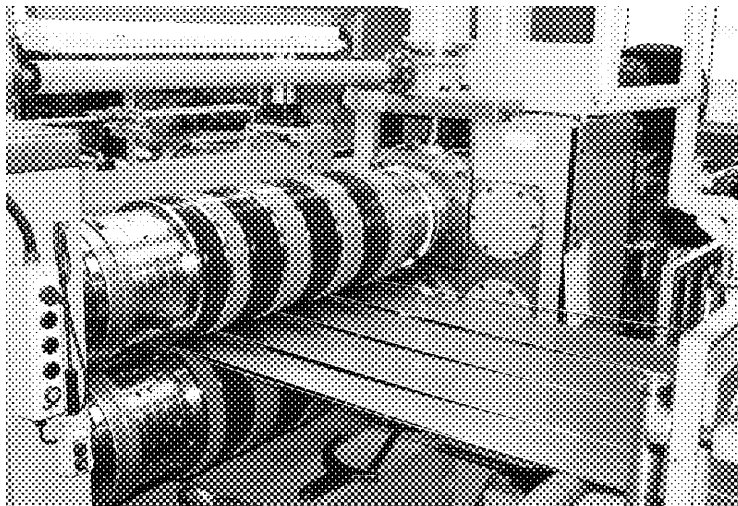
特殊鋼に特化加工・販売

の約8割は自動車関連で、納めた鋼材はシートカーの需要を満たす。鋼材の問屋は全国に数あれど、特殊鋼に特化した同程度の設

トベルトやホースクリップなどに使われる。強みの一つがコイルセンターだ。鋼材をロール状に巻いたコイルを保管し、多いときは月1万トもの在庫を抱える。在庫の厚さは安定供給につながっており、顧客には「鐘光になければ他にない」と言われるほど「便利に使ってもらっている」。

厚い在庫と品質で差別化

備を保有する企業は珍しいという。例えば鋼材を切断するスリッターは分速40〜50回転で稼働させる。一般



スリッターで鋼材を小さく切断する

車部品・刃物向け 小ロット対応

界には電動化の波が押し寄せている。

主要顧客の自動車業界には電動化の波が押し寄せている。主要顧客の自動車業界には電動化の波が押し寄せている。

投資会社の目線

【大阪中小企業投資育成 業務第2部・関啓吾調査役】人命を守るシートベルトなどに使用される特殊鋼を加工・販売する会社。圧倒的な設備と在庫を武器に、顧客のさまざまなニーズに対応しながら、独自の地位を築いてきた。慎重かつ大胆な経営を行う藤本社長は、社内外からの信頼も厚い。

（大阪・森下晃行）（木曜日掲載）